

～人と川・住民と
行政をつなぐ～

猪名川河川レンジャー

TOPICS

数珠つなぎインタビュー

活動報告

お知らせ

「NPO法人 豊島北ビオトープクラブ」

- ・第7弾 猪名川のい～な！作品展・表彰式を開催しました
- ・流域意見交換会を開催しました
- ・佐藤レンジャーが展示を行いました
- ・猪名川クリーン作戦に参加しました
- ・新しい河川レンジャーが就任しました

第15回 数珠つなぎインタビュー 「NPO法人 豊島北ビオトープクラブ」

猪名川流域の活動団体をリレー形式で紹介します。今回は、佐藤レンジャーが「NPO法人 豊島北ビオトープクラブ」の活動地「とよなか四季彩園」を訪問し、副理事長の柿本修一氏にお話をうかがいました。

● 豊島北ビオトープクラブはどのような団体ですか？

大阪国際空港の周辺緑地である「服部ビオパーク」と「とよなか四季彩園」の管理・運営を、豊中市との協働事業として行っているNPO法人です。約50人で活動しています。

● 「服部ビオパーク」と「とよなか四季彩園」はどんなところですか？

「服部ビオパーク」は、大きな遊具や芝生広場のほかに、花壇や草地ビオトープが設けられた公園です。「とよなか四季彩園」には、市街地にありながら多くの生き物が暮らせるよう、田んぼや水辺ビオトープが整備され、自然学習センターも併設されています。豊島北ビオトープクラブは計画段階から協議に加わり、オープン以降も、花壇やビオトープ、自然学習センター内の展示水槽などの、日常的な管理を行っています。

週末を中心に、生き物観察や米づくり体験、自然工作体験、昔の暮らし体験などの各種の講座が開催されますが、その企画運営も私たちのメンバーで行っています。

● ビオトープにかける思いを教えてください

ビオトープのコンセプトは『カムバック豊中の生き物』。猪名川流域と北摂地域の自然環境や、豊中で古くから維持されてきた農環境をモデルに、自然の再生を試みています。いつの間にか外来種が侵入していることも多く、管理はなかなか難しいです。豊中市南部には自然が少ないので、ビオトープが、子供達が自由に生き物を捕って遊べる自然の拠点になってほしいと願って活動しています。

※なお、とよなか四季彩園と服部ビオパークの管理運営の協働事業は平成31年3月末まで終了し、4月以降については未定とのことです。

佐藤レンジャーの感想

工場地帯のど真ん中に、行政と住民との話し合いを経てつくられた自然公園。水辺もあり生き物たちのオアシスになっています。運営スタッフも50名を超えとは羨ましい限りです。私は大いに楽しませて頂きました。しかしメンバーの熱い意識と一般の市民の間には温度差があるようです。ビオトープって何なの？という問いかけにわかりやすく答え、この公園の楽しみ方を伝えられるガイドの大切さを痛感しました。



インタビューの様子(とよなか四季彩園の自然学習センターにて。左から柿本氏、佐藤レンジャー)



自然学習センター内の展示水槽



ビオトープの様子(豊島北ビオトープクラブ提供)

猪名川河川レンジャーに関するお問い合わせは、

Web サイトまたはメールアドレスをご利用いただくか、猪名川河川事務所 工務課までご連絡下さい。

Webサイト <http://www.iranger.jp/> メールアドレス info@iranger.jp

※河川レンジャーのWebサイトとメールアドレスが新しくなりました



<https://www.facebook.com/InagawaRanger/>



猪名川河川事務所 工務課 池田市上池田2丁目2番39号 TEL:072-751-1111(代表)

第7弾 猪名川のい～な！作品展・表彰式を開催しました

「猪名川のい～な」は、猪名川の魅力を表現した写真や絵画を流域の皆様から広く募集し、展示会を行う取り組みです。今年度は、写真27点と絵画25点のご応募をいただき、11月から12月にかけて、猪名川流域の市役所や商業施設など5施設で作品展を開催しました。

また、応募作品の中から、猪名川の魅力を表現した作品として「猪名川河川事務所長賞」を2作品、「猪名川河川レンジャー賞」を10作品選定し、11月20日にイオンモール伊丹の展示会場で表彰式を行いました。



表彰式の様子

第7弾 猪名川のい～な！入賞作品の紹介！

猪名川河川事務所長賞
2作品



『尼崎の宝島』
津村 有香 様



『たくさんGetするぞ！』
明星 茜 様

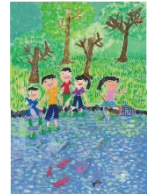
猪名川河川レンジャー賞
10作品



『さかなとれたよ～。
大すき猪名川!!!』
楳原 朋子 様



『こんな所にお寿司のお皿が!!!』
キッズクラブ様



『キラキラ』
有元 歩来 様



『冷たいよ！
水サイコー!!!』
谷川 生馬 様



『いなかの清流、最高です!』
嶋石 典央 様



『屏風岩の春』
広田 良治 様



『初夏の風』
藤尾 育子 様



『ゆく夏を映して流れる』
前川 敏夫 様



『誰が、最初につかまえるかな?!』
新谷 花音 様



『飛行機のある風景』
森脇 正彦 様

流域意見交換会を開催しました

流域の活動団体との連携を深めていくために、毎年恒例の流域意見交換会を12月19日に開催しました。13団体17名の方にご参加いただき、河川レンジャーと活動団体の協働を活発化するための意見交換を行いました。



流域意見交換会の様子

佐藤レンジャーが展示を行いました

1月15日から30日にかけて伊丹市で開催された「生物多様性交流フェスティバル in ラスタ」に、佐藤レンジャーがポスターを出展しました。猪名川河川レンジャーの紹介や、ヒメボタルやカヤネズミなどの猪名川の生物の魅力について情報発信しました。



佐藤レンジャーの展示

猪名川クリーン作戦に参加しました

今年も2月16日に猪名川クリーン作戦が開催され、上流から下流までの20地点で一斉に河川敷の清掃が行われました。河川レンジャーと協力員も5箇所の清掃に参加しました。



ドラゴンランド下流高速下



猪名川・最明寺川合流点河川敷



みんなの協力により
たくさんのゴミが回収できました

新しい河川レンジャーが就任しました

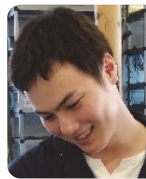
猪名川河川レンジャーに新たなメンバーが加わりました。流域の皆さんと一緒に、川と人をつなぐ取り組みを広げていきます。よろしくお願いします。

原口レンジャー（平成30年12月就任）



高校（電気科）で防災教育に携わっています。また、旧河川や旧街道、歴史的建造物や史跡などを取り込んだハザードマップを作り、地形との関係を調べる取り組みをしています。河川レンジャーとして同様の取り組みを皆さんとしていきたいと思っています。

川崎レンジャー協力員（平成30年12月就任）



猪名川の魅力を多くの人に知ってもらうことと、私が大好きな今の猪名川の自然をこれからも繋げていけるような活動がしたいです。

今西レンジャー協力員（平成31年3月就任）



猪名川でも多田川と呼ばれる所があり、上司小剣の小説「石合戦」の舞台となっています。川が育んだ自然と文化の魅力を伝え、親しんでもらう機会を増やしていきたいと思っています。